

事業番号	05	02	10	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域医療介護総合確保基金事業(医療推進課分)						担当課	部局	健康福祉部	
								課・局・室	医療推進課	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-1 健康づくり・医療充実プロジェクト						E-mail	<a href="mailto:iryo@pref.nagano.lg.jp">iryo@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり								
		4 医療施策の充実					実施期間	H26	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針									
	施策展開									

1 事業の概要

目指す姿	○ どの医療圏においても県民が標準的な医療を等しく受けられる状況を創出 ○ 患者が早期に社会・在宅復帰し、地域で継続的に生活 ○ 機能別の病床構成の見直しにより、患者の状態に応じた適切な医療を提供										
現状 (予算編成時)	○ 三大疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞)に対する標準的な急性期医療提供体制が、未だ脆弱な二次医療圏が存在 ○ 在宅療養者の割合が高い中で、必ずしも在宅医療提供体制が十分確保されていない状況 ○ 病床が高度急性期に偏り、回復・慢性期機能病床が不足										
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 厚生労働省「平成28年度医療介護提供体制改革推進交付金交付要綱」								
	県民との協働による実施：実施は困難										
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)										
	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(平成元年法律第64号。以下「法」という。)第4条第1項の規定により県が作成した計画に基づき、病床の機能分化・連携、在宅医療の推進及び医療従事者の確保のために必要な施設、サービス等の計画的な確保を図る。(事業進捗率70%以上)										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初) (決算)		H29 (当初)				
	医療提供体制改革推進のための事業	補助金	法第4条第1項に基づく計画に掲載される病床機能分化・連携、在宅医療推進及び医療従事者確保等の事業		878,998	630,212	915,856				
	医療勤務環境改善支援センター運営事業	直接	経営管理等を含めた勤務環境改善に取り組む医療機関を総合的に支援する医療勤務環境改善支援センターを設置、運営		1,794	1,121	5,403				
	在宅医療人材育成基盤整備事業	直接	地域の在宅医療関係者間の知見を広めるため、在宅医療推進会議を開催		3,623	1,798	3,442				
基金・運用益の積立	直接	国庫負担金:601,549 運用益:1,440 一般財源:300,775		949,566	903,764	1,359,558					
			合計	1,833,981	1,536,895	2,284,259					
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標
		当初予算	4,380,169	1,833,981	2,284,259				目標	成果	
		補正予算		-245,802					達成状況	達成	
		合計(A)	4,380,169	1,588,179	2,284,259				70%以上	71.6%	
	Aの財源	一般財源	1,052,282	300,775	452,455	事業進捗率(全体執行額/H28全体実施予定額)	43.11%	42.8%			—
		県債									
		国庫支出金	2,104,562	601,549	904,910						
		その他	1,223,325	685,855	926,894						
	決算額(B)		3,476,751	1,536,895							
	概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00						
		概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914						
	概算事業費(B(A)+C)		3,485,027	1,544,809	2,292,173						

目標に対する成果の状況	国の交付内示の遅れから、予定していた一部事業の追加募集ができなかったものの、概ね目標としていた事業進捗を図ることができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 国や県内の関係団体との連携を密にして、引き続き、脆弱二次医療圏・三次医療圏の医療提供体制強化、病床機能転換の促進、在宅医療提供体制・訪問看護体制強化等に取り組んでいく。
--------------------	---